

## 特長

### 優しく話しやすい医療職となることを心がけています

当事業所で最も大切にしているのは、ご利用者様にとって“優しく話しやすい相談相手”であることです。専門分化が進む日本の医療では、必要に応じて適切な医療機関やサービスへつなぐことはできます。しかし、その前に大切なのは、現在の状態を丁寧に把握し、困りごとを整理することだと考えています。「まずは安心して相談できること」——これこそが、今もっとも求められている支援の一つだと感じています。

### ご家族様への支援も大切にしています

ご本人様の同意を得たうえで、ご家族様や同居されている方へ現在の状況を積極的にお伝えしています。ご家族様の存在は、ご本人様の生活のしやすさや安心感にも大きく影響します。そのため、必要に応じてご家族様への助言、家族ケア、介護技術やケアのコツの伝達も積極的に行っています。

まずはご利用ください！

## 無料ちょっとみて訪問

ご利用の有無に関わらず、所長等がケアマネジャー様等と一緒にご自宅に訪問させていただきます。少しでもお役に立てるよう、ご相談・助言・評価を行い、今後の方向性を一緒に考えます。ケアマネジャー様等がつかっていない方も、直接ご連絡いただけます。ぜひお気軽にご活用ください。

お問い合わせ・お申し込みはこちらから



心が動けば体も動く

## プライマリケア訪問看護ステーション

087-813-3515 FAX 087-813-3516

primarycare@cap.ocn.ne.jp

営業時間：(月)～(金) 9:00～18:00

(祝日営業・年末年始・夏季休暇あり)

〒760-0080 高松市木太町1862-9



ホームページもご覧ください

## ご自宅こそリハビリの現場です

*When the heart is moved, the body follows.*



「心が動けば体も動く」をモットーに、理学・作業療法士、看護師がご自宅に伺います。

ご自宅にしながら、  
リハビリ・看護が受けられます。

マンツーマンの  
リハビリが受けたい

通所は苦手

退院後もリハビリを続けたい

介助方法が知りたい

自宅環境に合わせた  
リハビリがしたい

そんなあなたにお勧めなのが、プライマリケアの訪問です。

## ご利用にあたってのQ & A

保険は適応？

料金は？

訪問可能エリアは？

介護保険・  
健康保険適応

介護保険未認定の方は、健康保険が利用できます。ご利用には、医師の指示書が必要です。

60分→約788円(リハビリ)  
30分未満→約481円(看護)

要介護、1割負担の方、1回利用の目安です。負担割合、保険や制度、提供時間、加算等によって金額が異なりますのでお問い合わせください。

高松市内中心

高松市内（庵治町、香川町、香南町、塩江町、島しょ部を除く）中心ですが、ご相談ください。

## 所長メッセージ

当事業所は、2011年4月に設立し、「心が動けば体も動く」をモットーに、ご利用者様一人ひとりと向き合っています。「自宅こそリハビリの現場」と考え、身体だけでなく、その人らしい生活や気持ちを大切にしています。高齢者・精神・小児分野などに対応しており、理学療法士・作業療法士・看護師など、さまざまな経験を持つスタッフが在籍しています。ご利用者様やご家族様にとって、安心して相談できる存在でありたいと考えています。お気軽にご相談ください。

このような方にご利用頂いています



ご家族の声

認知症に対する理解が深まり心に余裕が生まれました  
母（87歳）の症状：認知症・要介護2、頻度：週1回（3152円程度/月）介護保険利用

「私はどこも悪くないからデイには行かなくてええ」と外出を嫌がる母。娘の私に向かって「お金を盗んだ」と言うなど、認知症の症状がひどく、情けない気持ちで介護を続けていました。けれど、プライマリケアの担当者さんが、辛抱強く母の話を聞いてくれて「泥棒扱いは、頼りにしてる裏返し」ということが分かり、救われた気持ちになりました。おかげで心に余裕が生まれ、今では母といい関係を築いています。

認知症の方の態度に戸惑うご家族の精神的負担が軽くなるよう認知症を理解していただくことから始めました。ご家族の負担が軽くなり、介護に余裕が出ることで、お母様の態度に変化が表れました。



85歳男性

「また外に出てみようかな」そう思えるようになりました  
症状：うつ病・要支援1、頻度：週3回（4170円程度/月）自立支援医療利用

コロナ禍をきっかけに、外出や地域とのつながりが減り、自宅に閉じこもる生活が続いていました。「元気そうに見えても、後でぐったりしている」と娘さんも、どう関わればよいか悩まれていました。無理に頑張らせるのではなく、気持ちを受け止め、マッサージで体をほぐしたり、家でできることを一緒に探そうと関わりを続けました。以前から好きだった菜園を、ベランダでもできるように提案したりするなどの関わりを始めました。すると、訪問を受け入れられるようになり、ヘルパー利用が決まり、どんなにしんどくてもベランダ菜園だけは枯らさず続けられるなど少しずつ生活に変化が見られるようになりました。

しんどい自分をご自身でも受け止めきれず誰にも会いたくなくなり、閉じこもっていた方です。“できないこと”ではなく、“今できていること”に目を向けながら、安心できる関係づくりを大切にしています。



68歳女性

まだ孫のお世話も家事も続けられています  
症状：パーキンソン病・介護保険未認定、頻度：週1回（0円程度/月）指定難病医療費助成制度利用

パーキンソン病と診断されてから、足が踏み出しにくい、立ち上がりに時間がかかる、姿勢が崩れる、転倒が増えるなどの症状が出始めました。「この先、孫のお世話や家事が続けられるのか…」そんな不安を抱えながら生活していました。症状や体調に合わせて、筋力訓練、ストレッチ、姿勢調整、自主練習をプライマリケアの担当者さんと実施しました。また、座りやすい椅子やクッションなど、生活しやすい環境調整も行ってもらいました。すると、転倒が減り、少しずつ自分で運動を続けられるようになり、現在も孫のお世話や家事を続けながら、自分らしい生活を送ることができています。

進行性の疾患であっても腰痛や可動域制限など二次障害を予防するためのリハビリが重要です。症状に合わせて運動や環境調整を行うことで生活動作の維持や転倒予防に繋がります。また、服薬の確認も大切であるため、気を配りサポートしています。

【サービス内容例】

健康状態や病状の観察、血圧・脈拍・体温などのチェック、異常の早期発見、リハビリテーション、関節可動域訓練、筋力強化、歩行練習、日常生活動作練習、余暇活動への参加促進、福祉用具や補装具の提案、食事・水分摂取の管理とケア、排泄や入浴などの清潔介助、医師の指示による医療的ケア（点滴投与・気管切開や在宅酸素等）、褥瘡や創傷の処置・予防、医療機器の管理・操作援助指導、服薬管理、精神的なケア、ご家族等への介護指導・相談、症状緩和やターミナルケアなど、精神疾患・小児に対するサービスも可能です。



※掲載している事例は、ご本人様のプライバシー保護のため、一部内容を変更しております。